

私が道である

シリーズ～新イエス～
2025/1/5 新年礼拝

「さよならキリスト教」が教えたこと

- 2024年、「さよならキリスト教」というテーマのもと、なぜこの国にキリスト教が根付かなかったのかーこのままいくとなくなってしまうー考えてきた
- 日本にはキリスト教の「形」は伝わったが、その本質は伝わっていない
 - 例: クリスマス・クリスチャン・聖書・結婚式…
- キリスト教の本質は「イエス・キリスト」である
 - イエス・キリストは過去の偉人ではない
 - 今も私たちと共におられる神である

シリーズ「新イエス」の目的

- イエスを**知る**

- これまでの「イエス像」を刷新し、新しい「イエス像」を構築する

- イエスを**体験する**

- 実生活の中で、共におられるイエスを体験して欲しい

- イエスの**ようになる**

- イエスを体験することによって変えられ、イエスようになることを目指す
- 個人として、そして教会全体として

今年の御言葉

イエスは言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。」

ヨハネ福音書14章6節

ヨハネ福音書14章1～7節

「心を騒がせるな。神を信じなさい。そして、わたしをも信じなさい。わたしの父の家には住む所がたくさんある。もしなければ、あなたがたのために場所を用意しに行くと言ったであろうか。行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻って来て、あなたがたをわたしのもとの迎える。こうして、わたしのいる所に、あなたがたもいることになる。わたしがどこへ行くのか、その道をあなたがたは知っている。」

トマスが言った。「主よ、どこへ行かれるのか、わたしたちには分かりません。どうして、その道を知ることができるでしょうか。」イエスは言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。あなたがたがわたしを知っているなら、わたしの父をも知ることになる。今から、あなたがたは父を知る。いや、既に父を見ている。」

現実主義者トマスの疑問

- **いよいよこの世を離れると宣言するイエス**
 - 自分がいなくなった後、「心を騒がせる」であろう弟子たちへの言葉
- **「あなたがたのために場所を用意しに行く」**
 - この世を離れる目的は、彼らが父の家にもいつ来ても良いように場所を整えに行くこと
- **トマスが尋ねる**
 - 「主よ、どこへ行かれるのか、わたしたちには分かりません。どうして、その道を知ることができるのでしょうか。」

私とその「道」である

- その「道」はこれからできる(造る)
 - まだ天の父に通じる道はない
- ご自身が「道」になられるのである
 - 道を示すのではなく、**道そのものになる**
- イエスは「私だけが道だ」と言われた
 - ギリシャ語本文では「道」の前に定冠詞(the)がついている
 - これは**唯一無二**であることを意味している
 - 「わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。」

道になられたイエス

- 私たちが神に背き道がなくなってしまった
 - 「このようなわけで、一人の人によって罪が世に入り、罪によって死が入り込んだように、**死はすべての人に及んだ**のです。すべての人が罪を犯したからです。」ローマ5:12
- 十字架の死によって神への道が復活した！
 - 「そこで、一人の罪によってすべての人に有罪の判決が下されたように、**一人の正しい行為によって、すべての人が義とされて命を得ることになった**のです。」5:18

道になられたイエス

•復活は天の父への道の回復の証拠

•「死は勝利にのみ込まれた。死よ、お前の勝利はどこにあるのか。死よ、お前のとげはどこにあるのか。」(コリントー15:54-55)

•イエスを信じる者はイエスと同じようになる

•「わたしたちは洗礼によってキリストと共に葬られ、その死にあずかるものとなりました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中から復活させられたように、わたしたちも新しい命に生きるためなのです。」(ローマ6:4)

イエス死と復活により「道」となった

イエスだけが「道」

- 人間のいかなる努力もこの道に及ばない
 - どれだけ善行を積もうとも罪を解決しない
- いかなる教えも哲学も宗教もこの道に及ばない
 - この世で成功する道、幸せになるための道を指し示す教えはたくさんあるが、確実に神の元に至る道はない
- 信心は天の父に1ミリも近づかない
 - 自分の力で神に近づけると思うことが罪
 - 頂上に至る道は一本しかない！

「道」であるイエスを踏んで行く

•まず自分を疑おう！

- イエスは私たちの常識を超えて行く
- トマスの失敗をしない

•新しい思いで聖書を読もう！

- 聖書は全巻でイエスを描いている

•「困ったときのイエス頼み」ではなく

- 常にイエスを意識して過ごす

•イエスに体重をかける(信頼する)

- 人や金に依存しない
- イエスは屈強なお方です！

今年の御言葉

イエスは言われた。

「わたしが道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。」

ヨハネ福音書14章6節